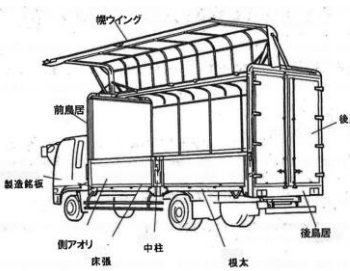
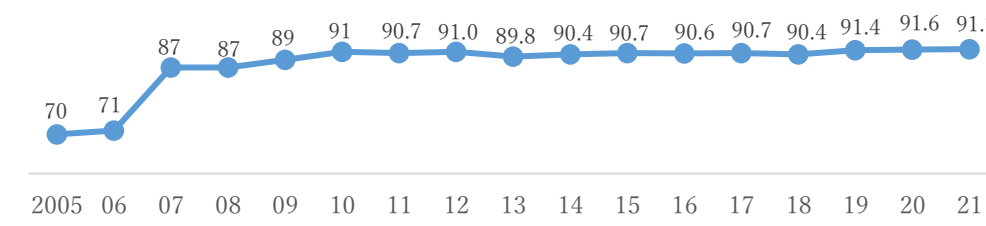
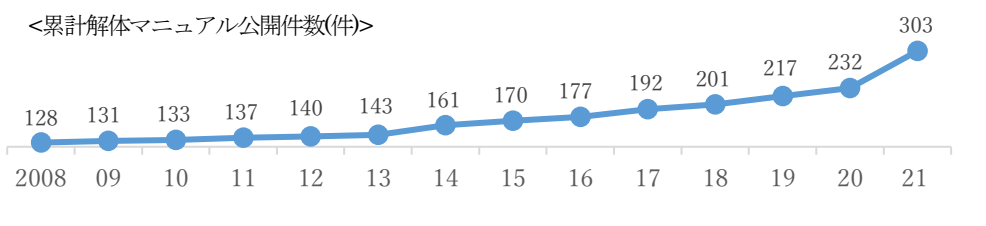
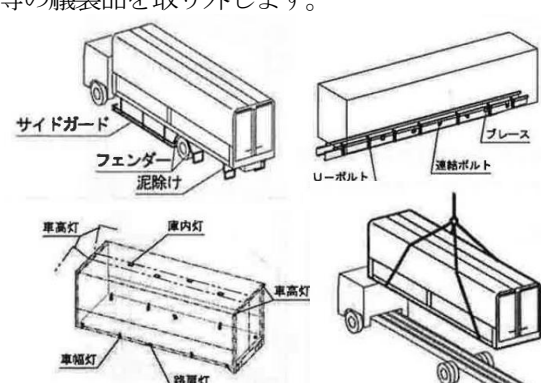


商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について

本取組みは両工業会共同で2002年11月以降実施してきたものである。活動概要は以下のとおり

1. リサイクル設計の推進 : (1) 車体メーカー各社にて製品展開拡大中
 (2) 易解体性向上・解体マニュアル充実のため平ボデー、バン型車解体実験を実施
 設計への反映、解体マニュアル記載内容見直しを推進
 (3) 環境基準適合ラベルの貼付目標 80%達成済み(2021年度 91.6%)
2. 重金属4物質の使用削減 : 鉛・六価クロム・水銀・カドミウム、2021年度は車工会2会員が不使用の確認取れず
3. リサイクル・適正処理の推進 : 協力事業者制度継続中。LiB情報も追加し情報充実
4. 情報提供、啓発活動の推進 : 協力事業者情報の車工会HP掲載継続。解体作業見学会、シャシー・架装物工場見学会ともコロナ禍のため2020・21年度は中止

自主取組みの内容	進捗状況
<p>1. リサイクル設計の推進 (1) 易解体性向上および適正処理の推進 [目標: 易解体性バンの試作、製品展開]</p> <p>(2) 解体マニュアル作成 [目標: 主要3機種をカバー]</p> <p>「帆ウイングボデー 解体マニュアルの例」</p> 	<p>①各社にて各種易解体性バンの開発、製品化を展開中 ②易解体性バンは 2021年度車工会会員バン生産の91.7%(59,730台) ③解体業者団体と連携して平ボデー、バン型車等の解体作業見学会を実施。解体時間短縮のための課題を抽出、製品に反映し架装メーカー各社にフィードバック</p> <p><車工会会員生産バンに占める易解体性バンの比率(%)></p>  <p>①解体事業者等から要望のあった、主要3機種(レントゲン車、冷蔵・冷凍バン、タンクローリー)の解体マニュアル対応完了 (特装車製品など新規作成) ②車工会会員各社ホームページにて公開中 累計公開303件(対前年+71件) ③解体事業者団体と連携、解体作業見学会を通じて得た作業実態をマニュアルへ反映</p> <p><累計解体マニュアル公開件数(件)></p>  <p>解体作業手順 記載例</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サイドガード、フェンダー、泥除け等の艀装品を取り外します。 ②車幅灯、車高灯・庫内灯・路肩灯等の電装品を取り外します。 ③Uボルト、連結ボルト・ブレース等の連結金具を取り外します。 ④クレーン等を使用してボデーをシャシーから取り外します。 

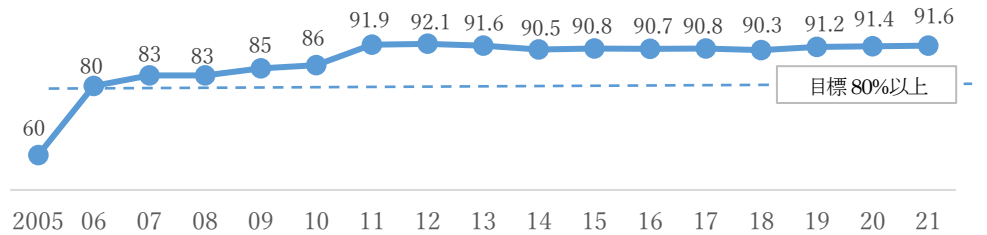
(3) 環境基準適合ラベルの設定
〔目標：車工会会員生産車の80%に貼付〕

＜環境基準適合ラベルの要件＞

- ①3R判断基準ガイドラインの作成
- ②解体マニュアルの作成・公開
- ③製造業者名の表示
- ④樹脂部品材料名の表示

・2004年3月、環境基準適合ラベルの要件を設定。2005年度以降は**目標80%を達成中**

＜環境基準適合ラベル貼付率(%)＞



＝バン型車の表示例＝



※環境基準適合ラベルは環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録・掲載中(2016年～)

2. 重金属4物質の使用削減

- (1) 鉛
〔目標：使用量 2002年度60g/台
→2006年度30g/台に半減〕
- (2) 水銀
〔目標：2005年1月以降使用禁止(照明装置等を除く)〕
- (3) 六価クロム
〔目標：2008年1月以降使用禁止〕
- (4) カドミウム
〔目標：2007年1月以降使用禁止〕

2005年度より目標達成を継続(除：車工会2会員)

＜鉛フリー化の事例＞ダンプ、タンクローリ等の電着塗料への切替

2004年末より目標達成を継続(除：車工会2会員)

＜水銀フリー化の事例＞高所作業車の水平保持用のスイッチ

2007年末より目標達成を継続(除：車工会2会員)

＜六価クロムフリー化の事例＞金具類(例：蝶番、ボルト、ナット、油圧ホースガードワイヤ)

2006年末より目標達成を継続(除：車工会2会員)

＜カドミウムフリー化の事例＞マーカランプ、タンクローリ自動開閉装置の温度ヒューズ

⇒**重金属4物質のフォローアップ継続。2021年度は車工会2会員の不使用確認が取れず、今後の課題**

3. リサイクル・適正処理の推進

- (1) 協力事業者制度の構築と拡充
〔目標：制度への登録拡充と各ブロックへの適正配置〕

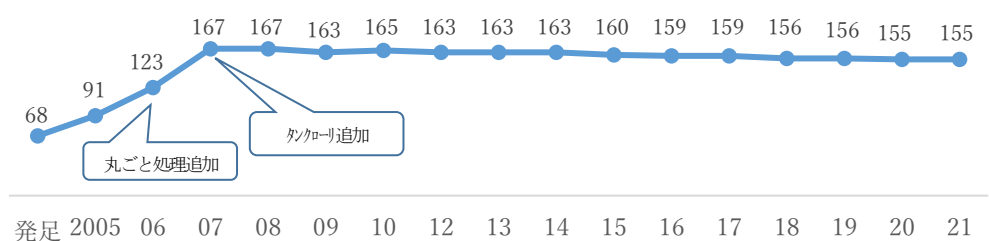
車工会ホームページ掲載



①協力事業者について、全国各ブロックへの適正配置を継続

②解体事業者の要望をふまえて丸ごと処理事業者ならびにタンクローリ残液の分析・処理・洗浄事業者も維持。2020年度はLiB情報も追加調査

＜協力事業者参加事業者数＞



4. 情報提供、啓発活動の推進

①協力事業者情報をメンテナンスし車工会HPへ掲載、2021年4月から下記追加

- ・LiB情報を追加掲載
- ・事業者情報一覧表リストをHPからダウンロード可能とし利便性向上

②解体事業者への情報提供

従来実施の解体事業者団体等と作業現場の見学会・意見交換、及び、解体事業者団体へのシャシー・架装物工場見学会とも、コロナ禍のため2020・21年度は中止。2022年度の取組み検討中